



## チョコレートを楽しむ学ぶ チョコレート展

国立科学博物館

本展は、世界中で最も愛されている食べ物の一つ、チョコレートに焦点をあて、原料の力カオを育む自然の恵みやチョコレートを発明した人類の智慧と工夫を、200点を超える展示物を通じて明らかにする。会場への入り口では、国立科学博物館をチョコレートでかたどったエントランスや、チョコで作られた蒸気機関車とクジラがお出迎える。

また、入場者が力カオ豆になった気分、チョコになるまでの製造プロセスを体感できるチョコレート工場もみどころとなっている。さらに、会場内で撮影した板チョコの包装紙となる「フォトチョコ」も販売され、チョコレート大好きな

女性たちにとってはたまたなく楽し会場になり、盛り上がること間違いなさそう。

**×** 11月3日 (土・祝) 2  
013年2月24日(日)  
国立科学博物館東京・上野公園) TEL03 5777 8600 (ハロイダイヤル) 一般・大学生1400円 小・中学生600円 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日)

### くらしの植物苑特別企画

## 『伝統の古典菊』

### 国立歴史民族博物館

菊は、わが国を代表する園芸植物のひとつである。平安時代の宮廷で、すでに菊花の宴が流行しているところから、律令期に他の文物とともにもちこられた。また、今期に他の文物とともにもちこられた。また、今期に他の文物とともにもちこられた。



国立歴史民族博物館 第三展示室(千葉県佐倉市城内町117) TEL043 486 0123

**×** 11月6日 (火) ~ 12月2日(日)

### 開館30周年記念 所蔵名品展

## 日本の陶磁

### 六古窯を中心に

年頭より、琳派、岩佐又兵衛の絵巻群、仏教美術、肉筆浮世絵等、代表的な所蔵作品の展覧会を開催してきた。開館30周年の最後を飾るのが、「日本陶磁器」。

当館の日本陶磁器コレクションは、野々村仁清作「色絵藤花文茶壺」(国宝)を筆頭に、各時代、各分野の優品が網羅されているのが特色。平安時代後期から室町時代にかけて制作され、素朴な味わいで人気の高い常滑、越前、信楽、丹波、備前、瀬戸の、一般に「六古窯」と呼ばれる窯場で生まれた壺、甕などを中心に取り上げ、更に、縄文時代の

火焙土器から江戸時代の伊万里・鍋島といった色絵磁器に至る日本陶磁の名品約90点を一堂に展覧。本展によって日本陶磁の歴史を展望し、それぞれの作品に表現された日本人の美意識を堪能できそう。

**×** 11月16日 (金) ~ 12月24日(土)

MOA美術館(静岡県熱海市桃山町2612) TEL055718412 511 一般1600円 高大生800円 満65才以上1200円 中学生以下無料 毎週木曜日休館

日本の歴史・文化の流れの中から論点を絞ったテーマを選んだ展示

国立歴史民族博物館(千葉県佐倉市城内町117) 電話03(5777)8600 八口ダイヤル 一般4200円、高校・大学生2500円、中学生以下は無料 月曜日休

着物、帯、のれん、屏風、額絵、絵本 など多岐にわたる

静岡市立芹沢銈介美術館(静岡市駿河区登呂5の10の5) 電話054(282)522 一般410円、高大生2500円、月曜日休

庭園ゾーン  
書院ゾーン  
体験ゾーン  
展示ゾーン

北九州市立小倉城庭園(北九州市小倉北区城内1の2) 電話093(582)2747 会期中無休